

**平成30年希少金属使用量削減・代替技術開発設備整備費等補助金事業交付要綱、産業技術研究開発拠点立地推進事業(希少金属使用量削減・代替技術開発設備整備等事業)実施要領、  
『補助金等の交付により造成した基金等に関する基準』等に基づく公表**

平成30年9月末現在

1. 基金の概要

|  |   |             |             |
|--|---|-------------|-------------|
| 基金(事業)の名称                                    | 環境対応車普及促進基金<br>(産業技術研究開発拠点立地推進事業(希少金属使用量削減・代替技術開発設備整備等事業))                                |             |             |
| 法人名  | 一般社団法人環境パートナーシップ会議  |             |             |
| 基金額(国庫補助金相当額)                                | 8,500百万円(8,500百万円)  |             |             |
| 基金事業の目的                                      | 企業等における技術力の保持・発展に資する投資の拡大並びに資源制約等に起因する研究開発拠点の海外移転等産業空洞化の防止。                               |             |             |
| 基金事業の概要<br>(見直し対象となる融資等業務(※1)を行っている場合は、その概要) | レアアース等の使用量削減・代替技術開発のための実証・評価等の実用化研究、設備投資支援。(補助率:中小企業以外の企業1/3以内、企業連携・中小企業1/2以内、産学官連携2/3以内) |             |             |
| 基金事業を終了する時期                                  | 【基金の終了予定時期】平成31年度(平成32年3月終了予定)<br>【新規申請の受付終了時期】平成24年度(平成24年6月終了)                          |             |             |
| 次回の見直し時期                                     | -   |             |             |
| 基金事業の目標                                      | 補助金により2倍程度の研究開発投資の喚起を目標   |             |             |
| 基金事業目標の達成度                                   | <b>27年度</b>   | <b>28年度</b> | <b>29年度</b> |
| <b>成果実績</b>                                  | 48  | 48          | 48          |
| <b>目標値</b>                                   | 69  | 69          | 69          |
| <b>達成度</b>                                   | 70%   | 70%         | 70%         |

2. 見直し結果

|   |  |
|---|--|
| 項目  | 講ずる措置  |
| 実施した見直しの概要<br>(平成18年8月15日閣議決定、平成20年12月24日行政改革推進本部決定における措置内容等(※2)) | 「補助金等の交付により造成した基金等に関する基準」等に適合するよう見直しを実施  |
| 目標達成の評価   | 執行開始時の市場環境が大幅に変化する中であって、達成の程度にバラツキはありそうだが、ある程度の成果を出していると考えられる。   |
| 基金の保有割合   | 1.00   |
| 基金の保有割合の算出  | 平成29年度末の基金額(204百万円)÷基金事業として必要な額(144百万円)+国庫返納額(60百万円)<br>① 基金残高=203,617,397円(平成29年度末時点)<br>② 基金事業として必要な額=144,069,863円<br>③ 国庫返納額=59,547,534円<br>④ 基金保有割合=1.00                                     |
| 使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果  | 使用見込みの低い基金等の該当の有無 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span> ・無<br>[有の場合]該当する理由:『補助金等の交付により造成した基金等に関する基準』(H18年8月15日 閣議決定)3.(4)④エに該当し、60百万円を平成30年6月に国庫返納済。 |
| その他   | -  |

### 3. 運用方法

| 科目      | 当該運用資産を選択している理由          | 金額(単位:百万円) |
|---------|--------------------------|------------|
| 預貯金     | 資金の安全性と資金管理の透明性が確保されるため。 | 204        |
| 短期・長期信託 | -                        | -          |
| 有価証券    |                          |            |
| 国債      | -                        | -          |
| 政保債、地方債 | -                        | -          |
| その他社債等  | -                        | -          |

### 4. 執行状況

(単位:百万円)

|          |                    | 平成29年度 | 平成30年度見込み |
|----------|--------------------|--------|-----------|
| 収入       | 国費                 | 0      | 0         |
|          | 国費以外               |        |           |
|          | 出資等                | 0      | 0         |
|          | 運用収入               | 0      | 0         |
|          | その他                | 60     | 0         |
|          | 前年度繰り越し            | 178    | 204       |
|          | (マイナス)返納額          | 16     | 60        |
|          | 合計(a)              | 222    | 144       |
| (事業支出費等) | 事業費(交付額)           | 0      | 0         |
|          | 管理費(※支出先は当法人及び事務局) | 18     | 72        |
|          | 合計(b)              | 18     | 72        |
|          | 基金残高(a-b)          | 204    | 72        |
|          | 出資残高               | 0      | 0         |
|          | 貸付残高               | 0      | 0         |
|          | 債務保証残高             | 0      | 0         |

### <交付額等>

(単位:百万円)

|        | 23年度  | 24年度  |
|--------|-------|-------|
| 交付決定件数 | 49    | 30    |
| 交付決定額  | 5,154 | 2,990 |

※1「見直し対象となる融資等業務」とは、「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律(平成18年法律第47号)第14条第3号に該当する融資等業務をいう。

※2「補助金等の交付により造成した基金等に関する基準」(平成18年8月15日閣議決定)、「補助金等の交付により造成した基金の見直しについて」(平成20年12月24日 行政改革推進本部)